

平成27年3月19日

第38回個人情報保護士認定試験 受験者 各位

一般財団法人 全日本情報学習振興協会

### 第38回個人情報保護士認定試験 問題53の扱いについて

前略 日頃は当協会をお引き立ていただきありがとうございます。

さて、平成27年3月15日（日）に実施いたしました、第38回個人情報保護士認定試験の問題53を解答するのにあたり、当協会ホームページを閲覧した受験者に支障が生じることが発覚し、当協会にて審議した結果、下記の通り当該問題を取り扱うこととなりました。受験者の方にはご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんが、ご一読賜りますようお願い申し上げます。

草々

#### 記

#### ■問題53の回答において支障となる理由

問題53は日本ネットワークセキュリティ協会の「2013年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書～個人情報漏えい編～」における、個人情報の漏えい事故・事件の原因の比率を表したグラフを提示し、内、1位、3位、5位の漏えい事由を、選択肢で回答するものとなります。それぞれ1位「誤操作」、3位「紛失・置忘れ」、5位「不正アクセス」が当てはまり、正答は選択肢イとなります。

しかしながら、上述グラフとは別に当協会ホームページにおいて、「情報の漏洩原因（委託先等の分を含む）」のグラフを掲載しており、このグラフにおいては、1位「紛失・置忘れ」、3位「誤操作」で、上記問題53のグラフと互いに違う結果が生じております。

この「情報の漏洩原因（委託先等の分を含む）」の統計は、当協会が個人情報の取扱いの実態を調査するため、個人情報保護士認定試験受験者を対象にアンケートを実施した結果で、問題53のグラフと当協会ホームページ上のグラフの結果に食い違いが生じるのは、調査の対象の違い等によるものかと思われませんが、以上を鑑み問題53の正答を以下の通りとさせていただきます。

#### ■問題53正答の取り扱いについて

問題53の正答は1位「誤操作」、3位「紛失・置忘れ」、5位「不正アクセス」をあてはめた『選択肢イ』と、1位「紛失・置忘れ」、3位「誤操作」、5位「不正アクセス」をあてはめた『選択肢ウ』の2つといたします。

以上